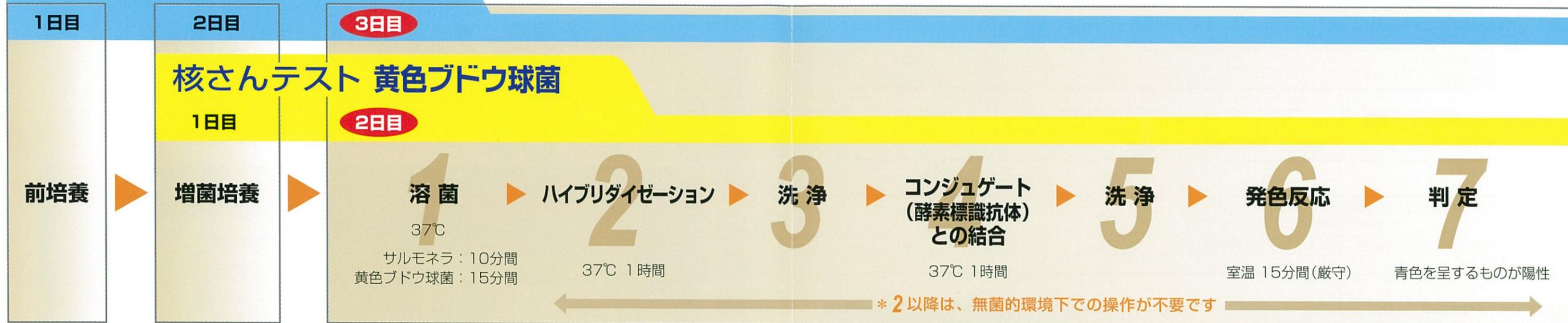


検査スケジュール概略

核さんテスト サルモネラ



必要な 器具・試薬

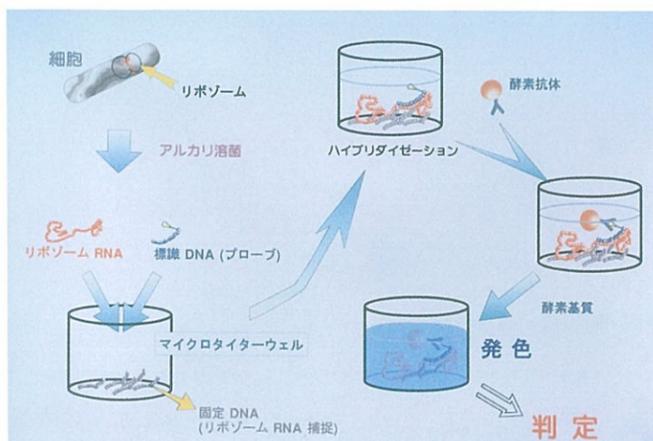
- 保温機 (35℃~37℃)
- マイクロチップ
- 接着用テープ
- 塩化ナトリウム
- マイクロピペット (20~200μl がとれるもの)
- マイクロチューブ (PP製が望ましい)
- 洗浄用容器 (フレームが浸かる程度の大きさ)
- 蒸留水またはイオン交換水

前培養・増菌培養終了後、約3時間で判定可能

発色(青色)の 有無で判定

- 陰性コントロール.....
- 陽性コントロール.....
- 陽性検体.....
- 陰性検体.....
- 陽性検体.....

反応原理

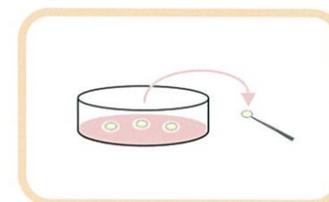


本キットは、リボソームRNAの菌特異的領域を検出する方法(DNAプローブ法)を用いて病原菌を検出するものです。近年の分子生物学的技術の急速な発展により、DNAプローブ法による検出・診断は非常に広い分野で用いられるようになってきましたが、核酸、特にRNAは分解しやすく、検出には細心の注意が必要でした。

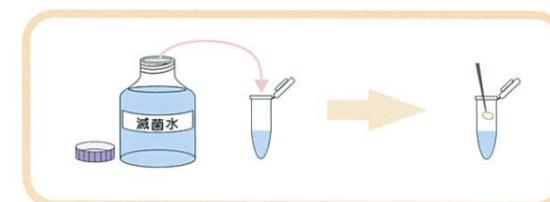
本キットではこの点を改良し、きわめて安定、かつ容易にRNAを検出することを可能としました。その結果、従来法と比べ迅速・正確、さらに低コストの検査が行えるようになりました。

応用例 寒天培地からの検査方法

寒天培地や、フィルム培地上に疑わしいコロニーが形成された時、コロニーを掻き取って検査をすることも可能です。(疑わしいコロニーが見つかったから約3時間後に判定することができます)



寒天培地に生えたコロニーを掻き取る。



マイクロチューブに滅菌水を加え、掻き取ったコロニーを懸濁する。

取扱説明書に従い操作を進め、発色、判定を行う。